

## ～全校田植え～



5月22日、能代西高校の恒例行事である全校田植えが行われました。この取り組みは、農作物に感謝するとともに、生徒各自の1年が稔り多いものとなることを祈念して開催され、今年で6年目となります。この日は天候にも恵まれ、全校生徒193人が一生懸命田植え作業に取り組みました。

開会式では、生物資源系列3年の伊川慎哉さんが「毎日何気なく食べているお米は、農家の方々のたくさんの苦勞があってできていることを知ってほしい。秋には豊作となるようお願いを込めて丁寧に植えていきましょう」とあいさつしました。その後、柏谷安彦先生、金洋一先生

から田植えの方法を教わり、学年ごとにわかれて能代西高の圃場約24aに手植えをしました。

植えた苗は生物資源系列の生徒が約1ヶ月かけて作った苗で、生徒たちは苗を3～5本ずつ丁寧に植えていきました。経験のある2～3年生は手際よく植えていったほか、初体験となる1年生は、ぬかるみに足を取られながらも徐々に作業に慣れ、1時間ほどで圃場は緑の絨毯となりました。

収穫は9月下旬から10月上旬に予定しており、収穫感謝祭で『だまご鍋』やおにぎりにして食べられるほか、西高祭でも一般のお客様に販売される予定となっています。



↑今年も楽しく作業しました



↑手際よく植えていく生徒



↑植え方を教える柏谷先生(左)と金先生(右)



↑苗くださ～い!!



↑印の山の部分に植えていきます



↑秋の収穫まで生徒らも管理していきます